※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	3～4 年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達の概念や誕生から幼児期までの発達の時期における特徴を扱うとともに、乳幼児の発育・発達に応じた適切な保育の重要性についても扱う。

また、児童福祉に関する基本的な法規の目的と概要についても取り扱うとともに、子育て支援に関する社会的背景や子育て支援施策の概要についても扱う。また、子どもの虐待とその予防にも触れる。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	・授業への取り組み ・ノート提出	・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト	・ワークシート ・定期テスト	・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	子どもの発達の特性	・発達と乳幼児期の意義 ・子どもの発達 ・乳幼児期の特徴 ・発達と保育環境 ・発達と保育環境のかかわり ・保育環境を整える ・児童観と発達観 ・児童観・発達観とは ・こんにちの児童観・発達観	◎ ◎ ◎	○ ○ ○		○ ○	a:乳幼児期の子どもに関心を持ち、乳幼児期の特徴理解に主体的に取り組もうとしている。 b:子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。 d:児童観と発達観の歴史的経緯を簡潔な文章でまとめている。	・授業、実習への取り組み ・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト
	子どもの発達の過程	・子どもの発育 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 ・発育の評価 ・子どもの精神発達 ・運動機能と感覚機能の発達 ・知的発達 ・言葉の発達 ・情緒の発達 ・人間関係の発達 ・愛着関係の形成 ・人間関係の広がり ・子どもの人格形成	○ ○ ○	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	a:胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。 b:愛着関係形成のためには、どのような関わり方がよいか考えを説明している。 反抗期における適切な関わり方を判断し述べている。 c:発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作している。 d:乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身に付けている。 子どもの精神発達の特徴と発達の経過について理解している。	・授業、実習への取り組み ・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト

※令和３年度以前入学生用

	子どもの保育	・保育の意義と重要性 ・保育とは ・人間形成と保育 ・家庭保育と集団発育 ・家庭保育 ・集団保育 ・保育の方法 ・保育者の役割とは ・指導のポイント	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○ ○ ○	a:子どもの保育に対する関心と課題意識を高めている。 b:子どもの心の育ちを考えて、親の子どもへのかかわり方を説明している。 c:保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわっている。 保育実習の記録をまとめ、成果を発表している。 d:集団保育の意義と形態，保育内容の要点をまとめている。 保育の今後の課題を述べている。	・授業、実習への取り組み ・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト
後期	子どもの生活	・生活と養護 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・食習慣の形成 ・衣生活と育児用品 ・子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助 ・生活習慣の形成 ・生活習慣の意義 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣 ・健康管理と事故防止 ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防 ・事故の防止と応急処置	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎	a:子どもにおこりやすい事故を予測し、対策を考えている。 b:子どもには遊びが大切である理由を述べている。 子どもの主体性を育てる遊びの援助について考えている。 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 c:幼児の食事の特徴をふまえ，子どもの弁当を作っている。 子どもの安全と快適さという視点から必要な育児用品を選択している。 子どもの発達に合わせた玩具を選んでいる。 d:子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 子どもの食生活や衣生活に関する知識を身につけている。 子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴、予防接種についての知識を身につけてる。	・授業、実習への取り組み ・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト

※令和３年度以前入学生用

	子どもの福祉	・子どもの福祉 ・児童福祉の理念 ・児童福祉に関する法律 ・児童福祉のための機関・施設 ・子育て支援 ・社会的支援の必要性 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援 ・子育て支援の課題	◎ ◎	○ ○		○ ○	a:子どもの幸せとは何かを考えている。 b:児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。 d:児童福祉六法や児童福祉のための制度を一覧表にまとめている。	・授業、実習への取り組み ・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。